

機能と景観を考えた 橋梁付属物のデザインポイント

C O N T E N T S

1. 橋梁の付属物とは	3
2. 景観設計の作業フロー	5
3. 排水装置の計画フロー	7
4. 落橋防止システムの計画フロー	11
5. 標識柱の計画フロー	13
6. 検査路の計画フロー	15
7. 吊金具の計画フロー	17
8. 防護柵の計画フロー	19
9. 照明装置の計画フロー	21
10. 支承の計画フロー	23
11. 付属資料	25

利用方法

本報告書は、橋梁の計画、設計、施工・維持管理に携わる技術者を対象に、橋梁の景観を阻害しない付属物の計画方法についてフローチャート形式でまとめたものである。内容は橋梁付属物と景観設計の概要、排水装置、落橋防止システム、標識柱、検査路、吊金具、防護柵、照明装置、支承の計画フローについて述べている。一般的な橋梁の付属物は、主構造の部材を用いて隠すなどして目立たないようにしているが、今回の計画方法は、付属物の機能性に関する調査や検討項目を理解し、次の3つ考え方に基づいて参考例や留意点をもとに望ましい付属物が計画できるようになっている。

- ①消去型：付属物の存在をなくす。
- ②強調型：付属物をデザインの一部として積極的に見せる。
- ③融和型：付属物を橋梁本体に融和させる。

橋梁付属物の計画に際しては、このフローチャートを用いることにより、デザインコンセプトをわかりやすく説明できるように工夫した。なお、ここでは設計計算については詳細に述べていないため、次の文献などを参考にしてほしい。

設計計算などに関する参考文献

- 1) 日本道路公団：設計要領第二集，1998年7月。
- 2) 阪神高速道路公団・都市高速道路研究会：都市高速道路付属構造物の設計，山海堂，1998年6月。
- 3) (社)日本橋梁建設協会：鋼橋付属物の設計手引き，1991年10月。

皆様に数多く利用していただければ幸いです。